

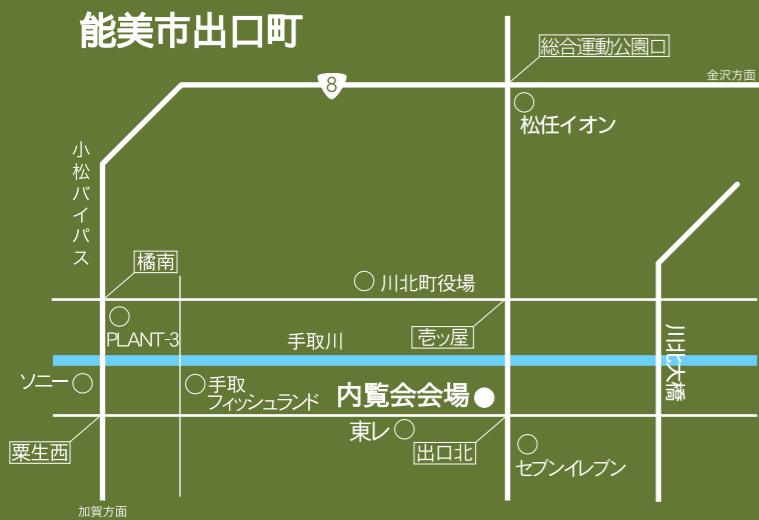
ダイニングキッチンを

# 土間

にしちゃいました。

その訳を知りたい方は、

是非、お越しく下さい。



※混雑時予約制 ※誘導看板を目印にお越し下さいませ

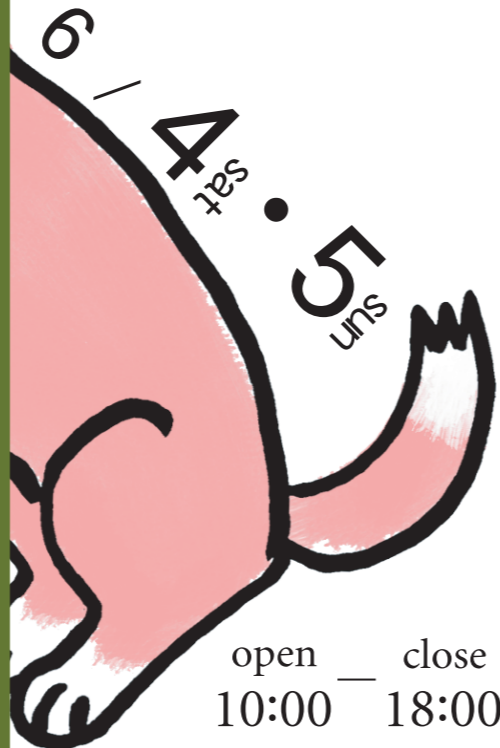
※道に迷われた方は下記の番号へお電話下さい

www.zuiun.jp

tel.076-213-5505

## 新築住宅 内覧会開催

VOL.13



open 10:00 close 18:00

家具から始まる家づくり。

zuiun 建築設計事務所



気が付けば、もう6月。一年の折り返し地点がすぐそこにやってきておられます。年内に家を建ててしまいたい！という方にはタイムリミットが近づいてきている時期でもありますね。

今回は「大切なペットと共に暮らす生活」をテーマに進めていきたいと思います。

皆さんは、何か動物を飼っていますか？

ペットを飼う理由は、単に動物が可愛だから、好きだから、という理由の他に、寂しいからといった理由や、防犯、子供の情操教育等が挙げられます。でも、どんな理由にせよ、通常は日常の世話を通してその温もりや愛くるしさに触れ、癒され、大事な存在になっていくのですね。

ちなみに、私は幼い頃自宅で、羽のインコを飼っていましたが、あまりに多すぎて区別が付かない上、祖母に「鳥籠に指入れたら、食べられるぞ」と脅かされていたので、尖ったくちばしが怖くて怖くて…。恐怖心の方が上回っていた記憶があります。もっと、微笑ましいエピソードでもあればよかったのですが…、残念です。

ペットに関して、こんな調査結果があります。2人以上の世帯において、%の世帯が何かしらのペットを飼っており、多い順では、犬が%、猫%、魚%、鳥類%（複数回答可）という内容です。

約半数もの家庭でペットを飼っているというのには、いささか多すぎるとは思いますが、別の調査でも現在ペットを飼っている、又は将来飼いたい、との回答で約半数になった、との結果が出ていることを鑑みると、ペットを飼うということは特別なことではないようです。

とはいうものの、どんなに可愛くて仕方ないペットでも、異なる生き物ですから、様々な面で配慮が必要になってきます。

家の外側に対しての配慮ですと、ご近所さんに迷惑を掛けない様に、匂いや鳴き声に気を付けるということも大事でしょうし、猫のように放し飼いにする場合は、よそのお宅で悪さをしないようにしつけることも必要ですね。

家の内側においては、匂いの他に、来客時の配慮、トイレの場所など、人間が不快な思いをしないで暮らせる配慮と、ペットにとって快適に暮らせる配慮の両方が、必要になってきます。

ペットヲカウ。イエヲカウ。

ZUIUN便り Vol.17



それでは、飼い主とペットが快適に暮らせる工夫で、建物としてできる工夫や対策にはどんなものがあるのでしょうか。ここでは、内装に使用する素材や設備等の視点から見て、要望にあった機能をもつ物を採用する事と、間取り等の視点にたって住みやすい環境をつくる事について取り上げたいと思います。

素材や設備の視点で考えたとき、ペット対策として商品化されているものとしては、傷の付きにくいクロスや、匂いの付きにくいクロスやカーテン等があります。また、ワンちゃんや猫ちゃんは、滑りやすい床だと脚が滑って股関節を脱臼してしまったりしますので、滑りにくい素材の床にする、ということも大事です。見た目のことを考えなければ、通常の建具にペット専用の入口の付いた物なら、閉まっても、ワンちゃんが自由に歩き来ることができるようにもできます。ただし、デザインに拘る方にとっては、選択肢が限られて少々物足りないかもしれませぬ。

間取りや家のつくりという視点では、来客時や、小さなお子様がいる、ペットがいる空間と仕切りたい時、普段は壁の中に引き込んで収納できる建具を、必要な時だけ引き出して使用できる間取りになっていると便利です。ペットの方も、自分だけの空間がもてる、ストレス解消になる子もいるようです。

ペットとコミュニケーションをとる時に、ソファやダイニングチェアに座っていると、ペットの視線が低くて、変な体勢でつらいなあ、と日頃感じていたのであれば、土間との敷居や畳スペースなどの小上がりを利用して、座ったときの視線が丁度いいような段差を設けるといいかもしれません。

以前、某テレビ番組では、玄関の正面に迎える立派な階段が猫ちゃん用で、申し訳なさそうに、その脇に人間用の階段があるお家を紹介していました。やりすぎには注意したいものです。

いずれにせよ、大事なものは、ペットと飼い主がお互いにストレスなく暮らす、という事です。それは、飼い主の価値観や望むペットとの関係性、ペットの性格や習性等で各々異なるもの。何が大事で、どうしたいのか、ということも考えながら、その上で、建物が手助けできる部分があれば活用していくのが理想ですね。

私も可愛いペットとの生活に憧れますが、職業上、時間的に不規則な生活です。まともな世話ができないことでストレスが溜まることは目に見えているので、その夢はしばらくおあずけ、です。